

トータルゲーム E

Total Game E



トータルゲーム E 概要

このゲームは 1～2人でプレイします

ゲーム中央の市場を介し、それぞれの会社経営を行います

基本の流れは、市場から仕入したものを自社で製品化し、再び市場に販売する事です

各自 23 回の持ち手番があり、1 手番で設備・仕入・製造・販売など 1 つだけ行動が選択できます

この持ち手番をプレイヤー同士で交互に消化して、全てなくなると成績を決算し、

10 回の決算でゲーム終了 良い成績を目指す事が目的です



【ゲームボード全体図】

会社盤（他社）

相手プレイヤーの会社盤
プレイでは市場・販売などを共有する

市場盤

仕入・販売を行う市場盤
中央は、カード置き場で、
市場盤の近くに、チップの
ストッカーを配置する

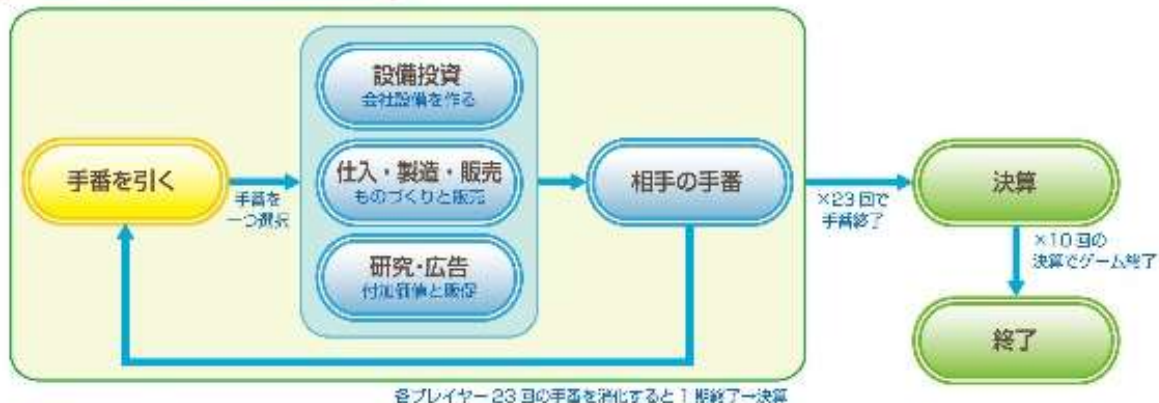
会社盤（自社）

プレイヤーの会社盤
初期は設備を作り、
その後、仕入・製造・販売
を行う

上記は 2 人プレイ時配置
1 人プレイ時は、市場盤と自社の会社盤だけで行い、
手番カードを 1 人分にする (23 枚 内 状況変化 2 枚)

ゲームフローチャート

ゲーム全体の流れをご紹介します



各プレイヤー 23 回の手番を消化すると 1 期終了→決算

セットアップと名称紹介（市場盤・会社盤）

初期にする事と基本情報



市場盤は、A～Fの6つの市場と、手番（黄）販売（青）状況（赤）の3つのカードから構成



会社盤は、左手側が会社設備（倉庫、工場…）右手側が経理、コインストックカー、カードストックカー

【プレイ前準備】

市場盤 市場を材料チップで埋め、各カードをセットする **会社盤** 自社の経理課に 300 円用意する

基本動作

ゲームの基本の動作のご紹介

- 【手番】手番カードを引き、手番を行う その際、自分との行動を発声してから（社員採用します、販売します等）行う
- 【お金を払う】経理 → コインストックカー（銀行）にお金を払う
- 【お金を受け取る】コインストックカー → 経理へお金を受け取る
- 【仕入】市場からチップを自社の材料倉庫に入れ、チップ仕入れ分のお金を払う
- 【製造】工場の仕掛品を製品に、倉庫の材料を仕掛品に移動する
- 【販売】販売カードを引き、指定市場に製品チップを売り販売金額を受け取る（満タン時は販売不可）販売の融通もできる

手番カード

自分の手番の時に必ず引く 引いた後、**手番①～⑥** が1つできる



- 一人当たりの手番回数：23回
- 手番カードの内容
(人数に応じて枚数が増減)
自由意志：21枚/人
状況変化：2枚/人



状況カード

自由意志の場合は、
製造・販売等行動を自由に選択
状況変化の場合は、
状況カードを引き、指示に従う

① 社員採用

採用することで【機械の稼働【生産】】【販売】が可能となる 採用費と固定費が発生する



社員



	工場	販売員
能力	機械1台稼働	製品2個販売
採用費用	採用、退職、配置転換 決算時(給料)	1人 5円 1人 20円～

※退職：状況変化カードによる強制指示が出た場合

- 採用した人材は工場が営業所に配置する
- 採用後のリストラはできない
- 工場配置=工員、営業所配置=販売員と呼ぶ
- 工場⇄営業所で人員の移動も可能(非手番時)

② 機械購入

製品を作る装置 機械の種類により、製造能力が違う



小型機械



中型機械



大型機械

	小型機械	中型機械	大型機械
能力	1個製造	2個製造	4個製造
購入金額	100円	120円	200円

- 1台稼働に、1人工員が必要
- 会計時に資産計上する
- 機械は売却可能(非手番時)、売却価格はその期の会計価値で決定する

③ 仕入れ

市場盤の各市場より、それぞれの入手単価で材料を購入できる



- A～Fの市場から、まとめて買える
- 購入後は、会社盤の材料倉庫へ入れる
- 市場外(ストッカー)からも1個17円ではる
- 入手単価は市場により異なる(仕入時)

④ 製造

工場材料から製品を作る 製造数は機械の能力範囲内による



- 材料から製品にするまで2手番必要
 - ①倉庫から工場に入れる(入工) ②工場から営業所に入れる(配送)
- 入稿と配送は同時にできる(コンベア式に生産できる)
- 倉庫にあるもの=材料 工場にある=仕掛品 営業所にある=製品と呼ぶ

製造費用 チップが動いた数(入工数+配送数)×1円